

子育て学習講座【西条市】

～学校や地域とともに築く家庭教育～

◆活動の目的・理念

●各年齢層の児童・生徒を持つ保護者のために、参観日や保護者会等の機会を利用し、子育てに関する講座を実施することにより、家庭教育の向上を図ることを目的とする。

| | | | | | | | |
|-------------|----------------|----------------|------------------------|------------|-----------|------|-----|
| 活動拠点 | - | 講座・学習 会開催数 | 59 回 | 相談対応 件数 | - 件 | 訪問活動 | - 件 |
| 広報活動 | 1 回 | 連携・協力 団体・機関 | 小学校25校、中学校10校、各小中学校PTA | | | | |
| チーム スタッフ | 地域コーディネーター | 名 | 子育てサポーター・リーダー | 名 | 民生委員・児童委員 | 名 | |
| | 元教職員 | 名 | PTA役員 | 名 | 保健師 | 名 | |
| 計 0 名 | 心理士・スクールカウンセラー | 名 | 支援団体・NPO関係者 | 名 | その他 | 名 | |

取組の概要

<主な取組内容>

- 小学校での就学時健診等を活用した子育て学習講座
 - ・就学前の子どもを持つ親を対象とした講座
 - ・各小学校単位で実施
- 小学校での参観日等を活用した子育て学習講座
 - ・小学生の子どもを持つ親を対象とした講座
 - ・各小学校単位で実施
- 中学校での参観日等を活用した子育て学習講座
 - ・中学生の子どもを持つ親を対象とした講座
 - ・各中学校単位で実施



「みんなちがってみんないい」
マイクを使わない迫力ある講演

保護者の感想

- ・子どもが困ったことをした時、その子自身が困っているということ、親としてわが子が困っているときの見方や考え方、接し方がはじめて分かりました。親がやり過ぎずに子どもにさせること、体験活動を生かしていきながら、困っているときの子どもの姿に寄り添っていきたいです。今日の話を生かして生活し、来年の入学式を晴れやかに迎えたいです。(就学時:困った子は、困っている子)
- ・学校の先生以外の方々も子どもたちのために関わっていることがわかり、とてもありがたく思った。グループワークで、初めて出会ったお父さんやお母さん方とも話せるようになった。相手のことが知ることができよかった。(就学時:豊かな心を紡ぐ)



「豊かな心を紡ぐ」
講師による読み聞かせ
～すべてのお母さん、お父さんへ～

<特色ある取組>

● グループワークの活用

毎週「読み聞かせ」や「放課後子ども教室」で関わっている方々が講師になり、取組の様子や子どもたちへの思いを絵本の読み聞かせとともに伝え、グループに分けて相互の交流を図る活動をする。
(就学時:豊かな心を紡ぐ)

● 「えひめ家庭教育応援学習プログラム」の活用

プログラムの一つ、「もうすぐ1年生」を取り上げた。ワークショップ形式にすることで話を聴くだけでなく、保護者が小学校入学前の不安感や自分の思いを言葉にしたり考えを共有できた。
(就学時:もうすぐ1年生)



ワークショップ形式を取り入れた講座
保護者同士が和気あいあいと話し合う

事業を実施して

【成果】

- グループワークで自己紹介をしたり、感動したことを伝えあったり、入学にあたっての心配を出し合ったりすることで、初めて出会った保護者士でも打ち解けて話せる関係になっていった。
- 講座を通して、保護者の多くが子育ての目標を持つことができた。
- 発達障がい児に対する具体的な支援方法の理解につながった。

【課題】

- 小グループの話し合いでは発言者に偏りが出ることもある。話をすることに抵抗感のある保護者への対応が必要。
- 父親の参加が少ない。多くの保護者に来てもらえるよう、PR方法を工夫したい。
- 講演をきくだけでなく、食生活の話聞いた後、取組の振り返りができるようにしたい。